

国語科学習指導案

指導者 津江 裕子

単元名	心にとまったことを書こう	教材名	「つぶやきを言葉に」
-----	--------------	-----	------------

重点化した指導事項

「B 書くこと」

- イ 日常生活の中から不思議に思ったこと、はっとしたことを集めて、詩に書く。
- オ 友達の作品から、新しい発見や表現を見つける。

重点化した成長課題

- 情報活用 課題や問題解決のために情報の収集・選択・伝達をしようとする。
- 創造性の発揮 様々な感覚を使い、感じたままを素直に表現しようとする。
- 自分らしさの発揮 様々な場面で自己を主張しようとする。
- 自然や美しいものへの感動 感じたことを自分のやり方で表現しようとする。
- 豊かな人権感覚 様々な立場や願いがあることに気付き、理解しようとする。

1. 単元目標

生き方の基礎・基本

- ・文字言語によって伝え合うことの良さを味わう。
- ・適切な表現を工夫することにより、自分の考えをいっそう明確にしようとする。
- ・主体的に自他の文章を評価し、その良さに気付いたり、間違いを正したりする。

学び方の基礎・基本

- ・多くの情報の中から必要な情報を適切に選択しようとする。
- ・適切な表現を考える。

知識・技能の基礎・基本

- ・目的に応じて表現の仕方を使い分ける。

5. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	不思議なことや感動したことをさがして、発見カードに集めている。
書く能力	思ったことが、上手く表現できるように言葉を選びながら詩を書いている。
言語についての知識・理解・技能	表現したり理解したりするために必要な文字や言語について、辞書を利用して調べる方法を理解している。

6. 指導計画 (4時間) 本時 3 / 4

	学 習 活 動	評価()と支援(・)
1	<ul style="list-style-type: none">・五編の児童作品を読み、作者が発見したことに気付き、表現の仕方を理解する。・3時で自分が詩を作ることを知り、詩の題材集めをする意欲をもつ。	<ul style="list-style-type: none">・心に浮かんだ気持ちを素直にそのまま言葉にしていることを確認し、自分にも書けそうだという気持ちを持たせる。・いろいろな詩を読み、題材さがしや表

2	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な詩を読み表現の仕方を知る。 ・集まった題材を見直し、さらに題材集めをする意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現の参考にできるようにする。 ・全員が題材を集めて本時に臨むようにする。
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・集めてきた詩の題材をもとに詩を書く。 ・詩を推敲する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材集めをしたカードをもとに、日常生活の中で感動したり不思議に思ったりしたことを、表現を工夫して詩に書いている。 ・必要に応じて、辞書を利用して語句を調べている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を清書する。 ・詩を交換し、鑑賞して感想を添え、返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の詩から新しい発見や表現を見つける。

7. 本時目標 感動したり不思議に思ったりしたことを、表現を工夫して詩に書くことができる。

8. 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	評 価 () と 支 援 (・)
1. 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に、今までに集めた「詩の種発見カード」を用意させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>詩の種をもとにして 一番書きたいことを 詩に書こう。</p> </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ・一番詩に書きたいことを決める。 <p>2. 詩の書き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いついた言葉や文をそのままどんどん書き、後から工夫して組み立てたり省いたりしてよいと分かる。 <p>3. 詩を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表したい内容について、思いついた言葉を書きとめていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・表したい内容に近づくように、推敲する。 工夫の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・言い切り（体言止め） ・繰り返しやリズム ・擬人法 ・比喩（たとえ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・上手く書こうなどと考えずに、気を楽しみして書くことができるように、書き直しができる下書き用紙を用意する。 ・書くことができないでいる児童には、「詩の種発見カード」を見ながら、発見した時のことを思い出させ、その時の事実を書いていけば良いことを教える。 ・詩のいろいろな表現の仕方を思い出す。 題材集めをしたカードをもとに、日常生活の中で感動したり不思議に思ったりしたことを、表現を工夫して詩に書いている。

・倒置法

4 . 詩を発表する。

必要に応じて、辞書を利用して語句を調べている。

- ・まずはグループ内で、作者が読んで発表する。
- ・次時で清書して、掲示することに意欲を持つ。